

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51100	農業委員会関係事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	番付			款	5	農林水産業費		分野	2	農業			
担当課	農政部 農務課		内線	項	1	農業費		基本施策	1	個性ある農業生産地づくりを行う	実施計画事業	農業委員会運営事業	
			2227	目	1	農業委員会費		施策	1	競争力のある生産基盤の整備	H25実施計画額	17,000 千円	

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行い、効率的かつ透明な組織運営をする。	概要	事業の実施手法(手段)	農業委員会の審議・活動の徹底と「見える化」の推進。 ・農業委員会の総会の公開と、議事録の公表。 ・日常的な「農地パトロール」の励行。 ・遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止。
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙「農委と農家」の発行により、市のHPを閲覧できない農家でも農業委員会や農務課情報(年金・農業制度・補助事業)などの情報収集ができる。 ・農地が有効利用されているかの「農地利用状況調査」を実施。 ・行政庁に対し、「建議」を実施し、新年度事業の政策提言ができた。 							
成果面	活動指標	農業委員会開催	回	目標値	12	12	12	12
	算出根拠等			実績値	12	12		
				達成率(%)	100	100		
	活動指標	農業委員会機関紙「農委と農家」の発行	回	目標値	4	4	4	4
	算出根拠等			実績値	4	4		
				達成率(%)	100	100		
	成果指標	高山市・高山市議会への「建議」	回	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等	農業委員会に関する法律		実績値	1	2		
				達成率(%)	100	200		
	成果指標	農業者年金への新規加入	人	目標値	4	4	4	4
	算出根拠等	県農業会議全体での目標値からの割り当て		実績値	5	5		
				達成率(%)	125	125		
			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等								
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・8月～11月にかけて、遊休地の調査、更に山林化している農地をパトロール。 ・総会の審議状況については、会議録をHPにて公表している。 							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・農業委員会や各部会・委員活動を通じてより効率的な建議を行う。
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・H23年度は、農業経営基盤強化法の運用を見直すことにより、新規就農者(退職サラリーマンやJターン就農者等)が耕作放棄地解消を目的として就農できる運用を施行した。 今後はその制度運用を広く公表し、新規就農者など担い手の更なる育成・拡大を図り、農地の有効活用を図る。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>・農地の違法転用を防止するため、農地パトロールや農業ができなくなる農家の農地の引き受け手を掘り起こすなど農地保全を強化する。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・農地の違法転用を防止するため、農地パトロールや農業ができなくなる農家の農地の引き受け手を掘り起こすなど農地保全を強化する。	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)
担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・農地の違法転用を防止するため、農地パトロールや農業ができなくなる農家の農地の引き受け手を掘り起こすなど農地保全を強化する。					
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)					

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 14,109	14,242	14,622	15,915
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,145	3,175	3,259	3,548
	受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の利用関係の調整など、農業全般の諸問題について総合的な見地からの諮問協議 ・農地貸借の促進、農地利用状況調査、遊休地解消業務や新規就農者等への農地あっせん 	要求のポイント	・農業委員会の各種事業の実施により、優良農地の保全と有効活用を図る	事業実施の課題	・農地の減少を食い止め、優良農地を確保すること及び農地の利用促進
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	-----------------------------------	---------	----------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		14,622	15,915	1,293	14,616	14,616	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	1,511	1,873	362	1,650	1,650		
	その他	1,300	1,170	△130	1,200	1,200		
	一般財源	11,811	12,872	1,061	11,766	11,766		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51205	飛騨農業共済事務組合負担金	内線	2222	会計	1 一般会計	政策		根拠計画		市長公約
担当課		農政部 農務課			款	5 農林水産業費	分野		実施計画事業		
					項	1 農業費	基本施策		H25実施計画額	千円	
					目	2 農業総務費	施策				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	農業災害補償法に基づき、農産物、家畜等の災害に対する共済事業を共同処理する事務費と事業費の一部を負担し広域的に共同運営することで運営コストの削減と、農家の経営安定、生産支援、地域支援(情報の収集)、組織体制強化を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	構成市村割で負担(高山市・飛騨市・下呂市・白川村)
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	水稲共済引き受け戸数は前年度より135戸減少したが、飼料用米と米粉用米の引き受けを始めたことにより引き受け面積が9ha増加した。園芸施設共済は、戸数において前年より36戸増加し1,287戸となったが、引き受け棟数は92棟減となった。被害については、一部地域で突風による被害が発生したものの雪害による被害は少なかった。家畜共済については、引き受け戸数が365戸、頭数で30,976戸となり、前年と比べ17戸減少したものの、頭数では豚肉が増加したことから1,323頭の増加となった。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	共同加入推進等農業者への周知	回	目標値	5	5	5	5
				実績値	5	5		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果指標	水稲共済引き受け面積	ha	目標値	2,892	2,885	2,877	2,870
				実績値	2,941	2,950		
	算出根拠等			達成率(%)	102	102		
	成果指標	園芸施設共済引き受け棟	棟	目標値	14,245	14,347	14,447	14,547
				実績値	14,667	14,575		
	算出根拠等			達成率(%)	103	102		
成果指標	家畜共済引き受け頭数	頭	目標値	31,494	30,719	30,719	30,719	
			実績値	29,653	30,976			
算出根拠等			達成率(%)	94	101			
補足	成果指標の目標値は中長期計画の年度目標値である		目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	水稲共済引き受け面積は増加しているものの、園芸施設共済引き受け棟数が減少している(引き受け戸数は増加)。今後も共済加入推進に努める。
-----------------	--------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援(農家の経営安定)に努める。(完全引き受けに努め、補償を受けられない農家を解消する) 生産支援(狩猟免許講習会や防除講習会等各種技術取得のための支援を図る) 地域支援(新たな米政策大綱の実現に向け、県、市、JA等関係機関と連携を深める) 	
次年度の実施方針	担当課評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	農業共済事務負担金が交付税措置されたことにより事務運営費を構成市町村から負担することとなったが、市町村合併に伴う債務負担の増大等で構成市町村の財政状況も厳しい中、更なる経費の削減は当然、組織体制の強化と安定した事業運営のため構成市町村との連携強化を図る。
	二次評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・飛騨農業共済事務組合に対し、事務経費の削減に取り組ませる必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 88,134	88,228	85,345	85,597
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 19,646	19,667	19,025	19,081
	受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業災害補償法に基づく農産物、家畜等の災害等に対する共済事業の共同処理(飛騨地域三市一村で共同運営) 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨農業共済事務組合の共同運営により、農家の経営安定等が図られる 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 農家の経営安定(完全引受)、生産支援(獣害対策等)、地域支援(情報収集)、組織体制の強化
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		85,345	85,597	252	85,597	85,597	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		85,345	85,597	252	85,597	85,597		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51210	農業関係事務費	会計	1 一般会計	政策		根拠計画		市長公約
			款	5 農林水産業費	分野		実施計画事業		
担当課		農政部 農務課	項	1 農業費	基本施策		H25実施計画額	千円	
		内線 2225	目	2 農業総務費	施策				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	・各種団体との情報交換による農業の振興	概要	事業の実手法(手段)	・飛騨農業振興会への加入(負担金支出) ・飛騨水田利用協議会への加入(負担金支出) ・飛騨エアパーク協会への加入(負担金支出)
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・認定農業者制度の普及啓発、認定農業者等に対する経営相談・指導・情報提供、認定農業者組織の育成強化 ・農業関係団体との連携							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	会議開催回数(地域農業再生協議会)	回	目標値	19	19	19	19
		実績値	19	20				
	算出根拠等		達成率(%)	100	105			
	活動指標	農業普及啓発パンフレットの配布	回	目標値	3	3	3	3
		実績値	3	3				
	算出根拠等	年3回(4.8.1月頃)	達成率(%)	100	100			
	成果指標	米の需給調整面積	ha	目標値	1,857	1,847	1,836	1,836
		実績値	1,854	1,843				
	算出根拠等	米生産数量目標配分表	達成率(%)	100	100			
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	各種団体においては積極的に活動しているが、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。
-----------------	--------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	より効果の上がる事業となるよう、事業効果の検証に基づいた活動方法の見直しを実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	農業の振興に必要な情報を得ることができるため、今後も継続する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・各団体の活動状況を把握し、事業効果を検証する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	7,416	7,056	7,067	7,192
	受益者1件当たり(円) (A/B)	1,653	1,573	1,575	1,603
受益者	H22 農業センサス農家戸数 (B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・認定農業者制度の普及啓発 ・認定農業者等に対する経営相談、指導、情報提供、組織の育成強化 ・関係団体への負担金	要求のポイント	・認定農業者制度の普及啓発、認定農業者等に対する各種支援に取り組むとともに、関係団体との連携を図る	事業実施の課題	・認定農業者の経営改善への支援体制の充実及び各関係団体の事業効果の検証
------	----------------------------------------------------------------	---------	---------------------------------------------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,067	7,192	125	6,967	6,967	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	171	171	0	300	300		
	その他			0				
一般財源		6,896	7,021	125	6,667	6,667		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51306 番枝	地域農政推進対策事業費	内線	2224	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・認定農業者の数を5%増やし、耕作放棄地ゼロを目指します。
					款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	地域農政推進対策事業、地域農業組織強化事業	
担当課		農政部 農務課			項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくり	H25実施計画額	6,000 千円	
					目	3 農業振興費	施策	5 あらたな担い手の確保			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	高山営農推進協議会が、各集落における現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討並びに各種政策の推進及び研修を行う事で、地域農業の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	目的達成に要する経費のうち、補助対象経費の2分の1以内の額を補助する
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	各集落との協力・連携体制を見直し、目的達成のための実施手法を円滑に行えるよう改善が図られた。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	農業普及パンフレットの配布	回	目標値	3	3	3	3
				実績値	3	3		
	算出根拠等	年3回(4, 8, 1月頃)		達成率(%)	100	100		
	成果指標	認定農業者数	経営体	目標値	570	580	590	600
				実績値	571	575		
	算出根拠等	認定農業者管理台帳		達成率(%)	100	99		
	成果指標	自己保全管理地の面積	ha	目標値	235	208	195	183
				実績値	216	218		
	算出根拠等	水田農業ビジョン		達成率(%)	92	105		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	農業者の高齢化に伴う離農・廃業等が深刻化する中、認定農業者数の増加は非常に厳しい状況にあるが、新規就農者や移住者などの潜在的・将来的な担い手の確保・育成に努めている。							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	各集落段階での実施事業や運営状況を把握・精査し、担い手の確保・育成と地域農業組織の強化に向けたより具体的かつ効果的な支援手法を検討する必要がある。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	各地域の農業組織と連携し、集落・地域が抱える人と農地の問題解決のため、7月を目標に「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」の作成を進める。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	補助対象経費の明確化、適正化を継続しつつ実施する。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	各組織の実施事業や運営状況を精査し、事業効果を検証する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 951	5,860	5,850	5,980
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 212	1,306	1,304	1,333
	受益者	H22 農業センサス農家戸数 (B) 4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営体等に対する経営相談、指導活動による育成、強化 地域農業組織強化のための営農推進協議会の活動支援 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高山営農推進協議会の活動支援により、各集落における課題解決の推進等を図る 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 各集落での実施事業や運営状況の把握・精査 担い手の確保・育成と地域農業組織の強化に向けた支援手法の検討
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	----------------------------------------------------------------------------------------	---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,850	5,980	130	5,850	5,850	積算内容を精査し、前年並み事業費とする	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		5,850	5,980	130	5,850	5,850		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51312	営農推進対策事業費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 ³ 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・認定農業者の数を5%増やし、耕作放棄地ゼロを目指します。
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	環境保全型農業推進事業、担い手農家規模拡大事業	
担当課		農政部 農務課	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくり	H25実施計画額	9,200 千円	
		内線 2224	目	3 農業振興費	施策	5 あらたな担い手の確保			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	・認定農業者の農用地利用集積を促進することにより、経営規模の拡大・農家経営の安定を図り、不作付地の解消を行う。 ・生産調整の確実でスムーズな実施	概要	事業の実施手法(手段)	認定農業者が新規に6年以上の農用地利用集積を設定した場合に、10a/8,000円を翌年に交付する。
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・担い手規模拡大事業補助金により、農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模拡大を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を推奨し、稲作経営の安定生産を図った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	農業改良組合への生産調整の確実でスムーズな実施に向けての周知回数	回	目標値	5	5	5	5
				実績値	5	5		
	成果指標	担い手への農地利用集積面積	ha	目標値	1,270	1,340	1,350	1,360
				実績値	1,331	1,365		
	成果指標	水稲共同防除実施面積	ha	目標値	900	1,640	1,700	1,700
				実績値	825	932		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
				達成率(%)	105	102		
	算出根拠等			達成率(%)	92	57		
				達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
達成率(%)								
算出根拠等			達成率(%)					
			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	さらなる不作付地の減少に向けて、利用権設定面積の増加を図る。
-----------------	--------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	「人・農地プラン」の作成を通じ、改良組合や一定地域ごとにおける人と農地の課題について地域の農業者とともに話し合いをすすめ、地域の中心となる経営体への農地の利用集積を促進する。 ※「人・農地プラン」…中心となる経営体名、同経営体への農地集積方法、地域農業のあり方等を示す計画。同プランに農業者が位置付けられることで国の各種支援が受けられる。(青年就農給付金、農地集積協力金、スーパーL資金)										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・引き続き不作付地の状況把握を把握するとともに、農地の利用集積等を促進する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・不作付地の解消に有効に機能しているか検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	・引き続き不作付地の状況把握を把握するとともに、農地の利用集積等を促進する。	拡大	縮小	○ 維持・改善	・不作付地の解消に有効に機能しているか検証する必要がある。	拡大	縮小	廃止検討	
○ 維持・改善	・引き続き不作付地の状況把握を把握するとともに、農地の利用集積等を促進する。										
拡大											
縮小											
○ 維持・改善	・不作付地の解消に有効に機能しているか検証する必要がある。										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 12,910	7,808	8,440	17,130
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,878	1,741	1,881	3,819
受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・生産性の高い営農経営確立のための活動に対する助成	要求のポイント	・戸別所得補償制度の実施にかかる事務費及び農地集積事業に対する助成制度の新設(全額国費)	事業実施の課題	・農地利用集積の促進
------	---------------------------	---------	----------------------------------------------	---------	------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,440	17,130	8,690	16,040	16,040	・積算内容を精査 ・経営所得安定対策に要する経費を計上 ・地域の中心となる農業経営体への農地集積協力者等に対する助成制度の新設	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	500	9,200	8,700	11,700	11,700		
	その他			0				
一般財源		7,940	7,930	△ 10	4,340	4,340		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51315 番 枝	農業施設等維持管理事業費	内線	2225	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
					款	5 農林水産業費	分野	1 観光	実施計画事業	農業体験施設運営事業、体験・交流施設維持修繕改修事業		
担当課		農政部 農務課			項	1 農業費	基本施策	1 人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う	H25実施計画額	25,000 千円		
					目	3 農業振興費	施策	3 観光関連施設の整備				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・都市と農村との交流増加による地域の活性化 ・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成	概要	事業の実施手法(手段)	・施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する (菓野侯野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、清見里人学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館)
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 6施設の利用者数の合計 8,200人 荒城農業小学校参加児童数 68人 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	施設利用者数	人	目標値	8,100	8,100	8,100	8,100
				実績値	8,249	8,200		
	算出根拠等		指定管理者報告書	達成率(%)	102	101		
	活動指標	荒城農業小学校参加児童数	人	目標値	80	80	80	80
				実績値	80	68		
	算出根拠等		指定管理者報告書	達成率(%)	100	85		
	成果指標	「満足」「やや満足」と回答した施設利用者の割合	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	75	73		
	算出根拠等		利用者アンケート調査	達成率(%)	75	73		
	成果指標	「農業小学校を楽しんでいた」と回答した参加者の割合	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	81	94		
算出根拠等		参加者アンケート調査	達成率(%)	81	94			
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 地元団体による安定運営をめざし、利用者が増加する取り組みをすすめながら、地元団体への譲渡を検討する必要がある。 譲渡にあたっては、補助金適正化法による制限に留意する必要がある。
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	指定管理者から提出された事業報告書をもとに、6月に評価を実施。
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。 地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果を検証するとともに、地元への譲渡について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 24,517	23,761	24,010	24,807
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,972	2,898	2,964	3,063
	受益者	(B) 8,249	8,200	8,100	8,100

5 予算編成 (Action2)

事業内容	指定管理施設の適正な管理運営(6施設)	要求のポイント	施設のより一層の利用促進	事業実施の課題	施設の老朽化に伴う修繕費の増
------	---------------------	---------	--------------	---------	----------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		24,010	24,807	797	24,450	24,450	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	2,912	1,486	△ 1,426	1,488	1,488		
	一般財源	21,098	23,321	2,223	22,962	22,962		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51320 番 1	鳥獣害防止対策事業 (有害鳥獣捕獲事業以外)	内線	2222	予算	会計 1 一般会計 款 5 農林水産業費 項 1 農業費 目 3 農業振興費	総合計画	政策 4 「にぎわい」のあるまちをめざして 分野 2 農業 基本施策 1 個性ある農業生産地づくりを行う 施策 4 鳥獣害の防止	根拠計画	実施計画事業 農作物獣害防止対策事業 H25実施計画額 70,000 千円	市長公約	3 産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します。 有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防御事業を強化し、併せて駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に取り組みます。
担当課	農政部 農務課											

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者等の組織する団体	どうしたいのか(意図)	鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。	概要	事業の実手法(手段)	・農地に侵入防止柵等を設置する場合、面積に応じ資材費の1/2、2/3、3/4以内の額を補助する。 ・国庫事業を実施する場合、その経費の3/4以内の額を助成する。
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫事業 実施箇所数:12箇所、実施面積:281ha ・市単事業 実施箇所数:59箇所、実施面積:305ha 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	被害防止施設整備面積(年)	ha	目標値	143	143	143	143
				実績値	190	587		
				算出根拠等	達成率(%)	133	410	
	成果指標	鳥獣被害面積	ha	目標値	144	129	113	98
				実績値	180	79		
				算出根拠等	達成率(%)	125	61	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	効果の上がる集落・地域ぐるみの取り組みを推進する必要がある。
-----------------	--------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・鳥獣被害対策は集落・地域ぐるみの実施が効果的であることから、侵入防止柵の整備や有害捕獲のみならず、研修会の開催、緩衝帯の整備、追い払い体制の整備等のソフト事業も強く推進する必要がある。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 </td> <td>地域で学習・研修会が開催できるよう助成制度を検討する。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 </td> <td> ・地域ぐるみでの取り組みをすすめるとともに、事業効果の検証を行う必要がある。 ・駆除鳥獣肉の活用方策を具体化する必要がある。 ・侵入防止柵等以外の新たな防御対策について検討する必要がある。 </td> </tr> </table>	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	地域で学習・研修会が開催できるよう助成制度を検討する。	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・地域ぐるみでの取り組みをすすめるとともに、事業効果の検証を行う必要がある。 ・駆除鳥獣肉の活用方策を具体化する必要がある。 ・侵入防止柵等以外の新たな防御対策について検討する必要がある。
	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	地域で学習・研修会が開催できるよう助成制度を検討する。				
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・地域ぐるみでの取り組みをすすめるとともに、事業効果の検証を行う必要がある。 ・駆除鳥獣肉の活用方策を具体化する必要がある。 ・侵入防止柵等以外の新たな防御対策について検討する必要がある。					

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 18,173	86,252	91,650	103,167
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 4,067	19,304	20,513	22,998
受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,468	4,468	4,468	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・農地への侵入防止対策に対する助成	要求のポイント	・地域・集落ぐるみでの効果的な被害防止対策(防除、環境整備、個体数調整)の推進を図る	事業実施の課題	・被害防止対策未実施地域での普及、啓発の推進及び駆除獣肉の活用
------	-------------------	---------	--------------------------------------------	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		91,650	103,167	11,517	96,700	96,700	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	51,000	65,000	14,000	60,000	60,000		
	その他			0				
一般財源		40,650	38,167	△ 2,483	36,700	36,700		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51320 番枝 2	鳥獣害防止対策事業 (有害鳥獣捕獲事業)	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します。 有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防御事業を強化し、併せて駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に取り組みます。
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	鳥獣害防止対策事業		
担当課	農政部 農務課	内線	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	43,000 千円		
		2222	目	3 農業振興費	施策	4 鳥獣害の防止				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農林水産業者及び市民全般	どうしたいのか(意図)	野生鳥獣による生活環境または農林水産業等に係る被害の防止及び軽減を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会を中心に編成された有害鳥獣捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を委託し、安全かつ適正な捕獲を実施する。 ・農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。 ・安全かつ取り扱いやすい捕獲器具を整備する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣捕獲隊員数 134名 ・捕獲数量 イノシシ:536頭、シカ:79頭、サル:166頭、カラス:86羽 ・捕獲檻の製作 イノシシ用:100台、シカ用:20台、サル用:40台 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	有害鳥獣捕獲数量(対象鳥獣)	頭・羽	目標値	1,110	1,110	1,110	1,110
				実績値	1,578	867		
	算出根拠等	鳥獣被害防止計画		達成率(%)	142	78		
	成果指標	鳥獣被害面積(対象鳥獣)	ha	目標値	144	129	113	98
				実績値	180	79		
	算出根拠等	農家アンケート		達成率(%)	125	61		
	成果指標	捕獲従事者数(狩猟免許所持者)	人	目標値	125	140	150	165
				実績値	128	134		
	算出根拠等			達成率(%)	102	96		
	算出根拠等			目標値				
実績値								
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲技術後継者の育成が急務であることから、狩猟免許取得を促進する。
-----------------	--------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・集落・地域ぐるみの捕獲を推進するため、狩猟免許を所持しない者でも有害捕獲に従事できる補助者制度を導入した。 ・狩猟免許を所持する捕獲従事者を育成するため、免許取得に対する報奨金制度を創設した。 	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲技術後継者の育成が急務であることから、狩猟免許取得を促進する。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から拡大した捕獲技術者育成報奨金の事業効果を検証し、引き続き、捕獲隊員の確保・狩猟免許取得者の増加を図る必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 40,917	34,660	38,230	42,527	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 436	371	412	458	
	受益者	農林水産業者及び市民全般	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲従事(技術)者の確保、育成に対する助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣捕獲の実施及び捕獲従事(技術)者の確保、育成により、被害防止を図る 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲技術者の育成、特に狩猟による有害鳥獣捕獲従事者の育成、確保
------	-----------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		38,230	42,527	4,297	39,230	41,230	・積算内容を精査	・有害鳥獣の個体数調整として、狩猟捕獲促進制度(特別捕獲報奨金)を創設
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	5,827	5,797	△ 30	6,463	6,013		
	その他			0				
一般財源		32,403	36,730	4,327	32,767	35,217		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51324 番枝	農業制度資金等利子補給金	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	農業制度資金等利子補給事業	
担当課		農政部 農務課	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	4,000 千円	
	内線	2225	目	3 農業振興費	施策	1 競争力のある生産基盤の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・農業近代化資金、農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する ・農業近代化資金、農業経営基盤強化資金の利子補給期間は最長5年間
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利子補給件数 189件 ・利子補給金額 3,782千円 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	農業制度資金相談窓口の開催回数	回	目標値	20	20	20	20
				実績値	24	22		
				算出根拠等	達成率(%)	120	110	
	活動指標	高山市ワンストップ支援窓口での相談件数	件	目標値	30	30	30	30
				実績値	33	60		
				算出根拠等	達成率(%)	110	200	
	成果指標	利子補給件数	件	目標値	160	160	160	300
				実績値	161	189		
				算出根拠等	達成率(%)	101	118	
	成果指標	利子補給金額	千円	目標値	3,300	3,300	5,302	5,890
				実績値	3,358	3,782		
				算出根拠等	達成率(%)	102	115	
	成果指標	新規借入申込件数	件	目標値	30	30	30	13
				実績値	30	56		
算出根拠等				達成率(%)	100	187		
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・利子補給制度の周知を図る必要がある。
-----------------	---------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・認定農業者向け支援制度概要パンフレットに利子補給制度を掲載し、配布した。							
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・過年度債務負担分についても、継続して利子補給を行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・過年度債務負担分についても、継続して利子補給を行う。		拡大		縮小
	担当課評価	○ 維持・改善	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・過年度債務負担分についても、継続して利子補給を行う。					
	拡大							
	縮小							
	<table border="1"> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> </table>	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)						
	拡大							
	縮小							

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	3,358	3,782	5,302	5,883
	受益者1件当たり(円) (A/B)	749	843	1,182	1,311
	受益者 H22 農業センサス農家戸数 (B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・利子補給による農業経営の改善等支援	要求のポイント	・農業経営基盤強化資金の助成方法見直しによる県負担分の計上	事業実施の課題	・農畜産物価格の低迷 ・農業生産資材費の高騰による経営の悪化
------	--------------------	---------	-------------------------------	---------	-----------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,302	5,883	581	5,890	5,890	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		2,506	2,506	2,506	2,506		
	その他		18	18				
一般財源		5,302	3,359	△ 1,943	3,384	3,384		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51327 新規就農者等育成支援事業	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 3 農業を、豊かで広大な自然環境の恵みを活かして、技術と経営の一体的な確立を図り、次代につながる産業に育てるため、人材育成(後継者育成、新規就農者獲得、就農体験、研修制度)を農業従事者の声を聞きながら積極的、かつ総合的に実施します。
		款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	農業後継者等育成事業		
担当課	農政部 農務課	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	55,300 千円		
	内線 2223	目	3 農業振興費	施策	5 あらたな担い手の確保				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 新規就農者、農業後継者	どうしたいのか(意図)	次代を担う農業後継者の定着・育成を図る	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施(指導農家への謝礼) 新規就農者規模拡大事業…農地賃借料の補助(対象:就農後5年を経過していない認定就農者) 農業後継者団体活動費補助、農業後継者海外派遣研修費補助 青年就農給付金(農業を始めて間もない時期に給付金を給付 H24国新規事業)
	対象者数	173 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者の実践的就農研修の実施 新規就農者への農地賃借料補助 4Hクラブ、市農業士、フレッシュミズの会への助成 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	新規就農研修生受入れ人数	人	目標値	-	5	10	10
				実績値	-	10		
				算出根拠等	達成率(%)		200	
	活動指標	新規就農相談件数	件	目標値	-	60	60	60
				実績値	-	54		
				算出根拠等	達成率(%)		90	
	成果指標	新規就農研修生の就農人数	人	目標値	-	-	5	6
				実績値	-	-		
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果指標	新規就農者数	人	目標値	19	20	21	23
				実績値	16	15		
算出根拠等				達成率(%)	84	75		
補足	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援や各種相談業務の実施により、就農が確実なものとなるよう定着促進を図る必要がある。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> H24から新たに実施される青年就農給付金や、実践的研修の積極実施等により、新規就農者の定着・育成を図る。 	
次年度の実施方針	担当課評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 国青年就農給付金等を積極的に活用し、新規就農者の定着促進を図る。 各種相談業務の充実により、安心して農業に取り組める環境づくりを行う。
	二次評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果の検証を行う必要がある。 青年就農給付金の利用状況、効果等を把握し、移住就農支援補助金等との調整を図る必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 1,265	2,525	57,040	69,800	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 8,006	15,211	361,013	441,772	
	受益者	団体所属者・研修者・規模拡大者	(B) 158	166	158	158

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者の実践的就農研修や農地確保への支援 新規就農者の経営規模拡大、経営安定への支援 農業後継者の研修や後継者団体等への支援 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者、農業後継者の就農促進・定着・育成を図る 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 農業後継者確保のための支援対策
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	-----------------------------------------------------------------------------	---------	-------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		57,040	69,800	12,760	49,800	49,800	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 新規就農者の資材等調達に対する助成については、無利子融資により負担軽減しているため予算計上を見送り 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	53,700	44,220	△ 9,480	46,200	46,200		
	その他	1,405	1,387	△ 18	1,405	1,405		
	一般財源	1,935	24,193	22,258	2,195	2,195		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51333 番枝	地域特産物振興事業補助金	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	地域特産物発掘・育成事業		
担当課		農政部 農務課	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	5,000 千円		
	内線	2223	目	3 農業振興費	施策	2 特色ある産地産品づくり				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	地域特産物生産者組織	どうしたいのか(意図)	地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起こしを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付。 【ステップ1 発掘】地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等 【ステップ2 育成】地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化 【ステップ3 振興】地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動
	対象者数	10 団体					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・地域特産物振興事業補助金により、地域農産物の生産拡大、高品質化、商品開発、販売振興を促進した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	事業採択組織数	団体	目標値	5	8	10	10
				実績値	6	8		
	算出根拠等			達成率(%)	120	100		
	成果指標	地域特産物の発掘取組み品目数(ステップ1)	品目	目標値	3	3	2	2
				実績値	3	2		
	算出根拠等			達成率(%)	100	67		
	成果指標	地域特産物の生産量(ステップ2 飛騨黄金)	千本	目標値	850	850	850	850
				実績値	410	414		
	算出根拠等			達成率(%)	48	49		
	成果指標	地域特産物加工品等商品化件数(ステップ3)	件	目標値	1	2	2	2
				実績値	1	3		
	算出根拠等			達成率(%)	100	150		
				目標値				
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・しおやもやエゴマの新商品開発や生産者組織による農産物PR事業の参加などが見られ、販売促進活動への意欲が高まってきている。							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	特産物の振興が何らかの成果をもって図られるための効果的な事業利用を促すことが必要。
-----------------	-------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	段階的なステップアップを意識した取組みとなるよう、計画申請時にヒアリングを行う。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	地域特産物の振興に取り組む農業者団体について、段階的にステップアップが図られるよう、引き続き支援する。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく必要がある。 ・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究・獣害防止等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。 ・農産物の生産のみに留まらず、商工観光分野と連携した加工品の開発も促進する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,654	2,194	3,000	3,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 275,667	274,250	300,000	300,000
	受益者	(B) 6	8	10	10

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・農業者の行う地域特産物の発掘、生産拡大、高品質化、新商品開発等の取り組みに対する助成	要求のポイント	・地域の特色ある産地産品づくりの推進を図る	事業実施の課題	・制度の周知
------	---------------------------------------------	---------	-----------------------	---------	--------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,000	3,000	0	3,000	3,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,000	3,000	0	3,000	3,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51334 番枝	6次産業化支援事業費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 3 農業を、豊かで広大な自然環境の恵みを活かして、技術と経営の一体的な確立を図り次代につながる産業に育てるため、人材育成、農工商連携による第6次産業化(生産、加工、流通、販売の一体化)などの施策を、農業従事者の声を聞きながら積極的、かつ総合的に実施します。
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	農業関連施設整備事業		
担当課		農政部 農務課	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	2,000 千円		
	内線	2223	目	3 農業振興費	施策	3 販路の拡大と流通の効率化				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	認定農業者、農業法人、農業者組織	どうしたいのか(意図)	農業者による6次産業化を支援することで付加価値の高い産地産品づくりを促進し、農産物のブランド化、農業者の持続的かつ健全な発展及び地域の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	農業者が新たに加工・流通・販売に取り組む場合に必要な施設、機械・器具類の整備費、販路開拓費に対して助成する。
	対象者数	575 経営体					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	(H24新規)	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		活動指標	六次産業化法に基づく事業計画認定者	団体	目標値			6	8
		算出根拠等		実績値		6			
				達成率(%)		100			
活動指標	補助金交付件数	件	目標値					2	4
	算出根拠等		実績値						
			達成率(%)						
成果指標	補助金交付事業者販売額(事業者A)	千円	目標値					1,000	2,000
	算出根拠等 補助金交付実績書		実績値						
			達成率(%)						
成果指標	補助金交付事業者販売額(事業者B)	千円	目標値					1,500	2,000
	算出根拠等 補助金交付実績書		実績値						
			達成率(%)						
			目標値						
			実績値						
			達成率(%)						
			目標値						
			実績値						
			達成率(%)						
補足									

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況											
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">引き続き、農業者の6次産業化への取り組みを支援する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">取り組みをすすめるとともに、今後、事業効果の検証を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	引き続き、農業者の6次産業化への取り組みを支援する。	拡大	縮小	○ 維持・改善	取り組みをすすめるとともに、今後、事業効果の検証を行う必要がある。	拡大	縮小	廃止検討	
○ 維持・改善	引き続き、農業者の6次産業化への取り組みを支援する。										
拡大											
縮小											
○ 維持・改善	取り組みをすすめるとともに、今後、事業効果の検証を行う必要がある。										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22	H23	H24	H25	
		決算額	決算額	予算額	予算要求額	
歳出(千円)	(A)	0	0	2,000	4,500	
受益者1件当たり(円)	(A/B)			1,000,000	642,857	
受益者	事業採択者	(B)	0	0	2	7

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・農業者による6次産業化(生産・加工・販売)の取り組みに必要な施設整備等に対する助成	要求のポイント	・6次産業化の取り組みへの支援により、付加価値の高い産地産品づくりの促進を図る	事業実施の課題	・事業効果の検証等
------	--------------------------------------------	---------	-----------------------------------------	---------	-----------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	4,500	2,500	2,500	2,500	県による事業採択見込みをもとに積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	2,000	4,500	2,500	2,500	2,500		
	その他			0				
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51340	経営体育成支援事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 農業を、豊かで広大な自然環境の恵みを活かして、技術と経営の一体的な確立を図り次代につながる産業に育てるため、人材育成(後継者育成、新規就農者獲得、就農体験、研修制度)、農商工連携による第6次産業化(生産、加工、流通、販売の一体化)などの施策を、農業従事者の声を聞きながら積極的、かつ総合的に実施します。
	番枝			款	5 農林水産業費		分野	2 農業	実施計画事業			
担当課				項	1 農業費		基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	千円		
	内線			目	3 農業振興費		施策	1 競争力のある生産基盤の整備				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	新規就農者及び認定農業者等地域の担い手	どうしたいのか(意図)	・新規就農者、意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に資する	概要	事業の実施手法(手段)	・意欲ある多様な経営体が自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に直接支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る
	対象者数	597 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・新規就農者への機械施設等整備への補助 4経営体 ・認定農業者への機械施設等整備への補助 7経営体、左記整備に対する追加的信用供与 1件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	事業導入経営体数	経営体	目標値	11	14	15	15
				実績値	8	11		
				算出根拠等	達成率(%)	73	79	
	成果指標	新規就農者数	人	目標値	19	20	21	23
				実績値	16	15		
				算出根拠等	達成率(%)	84	75	
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・成果目標と事業費比率のポイント制で採択が争われるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求める必要がある。 ・新規就農者の中でも後継者への支援を望む意見が多くあり、これらに対する支援も検討する必要がある。
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・各種相談業務時等における要望量の把握と事業内容のPRの強化を行う。	
次年度の実施方針	担当課評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・事業実施希望者に対して、成果目標が高くなるような機械施設導入に対するアドバイスを行い、できる限り多く採択されるよう取り組む。 ・安定的かつ小回りの利く新規就農者への支援事業の検討。
	二次評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・新規就農者や地域の担い手の増加に確実ににつなげていく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 15,800	13,803	17,000	12,533
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 26,917	23,435	28,523	20,993
	受益者	(B) 587	589	596	597

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・人・農地プランに位置付けられた中心経営体の育成・確保のための農業用機械、施設等への支援 ・融資の円滑化等を図るための金融機関への債務保証(経営体の信用保証)拡大の支援	要求のポイント	・意欲ある経営体の経営拡大や改善を支援することにより、地域農業の持続・発展を図る	事業実施の課題	・国採択を受けるための成果目標等確保
------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17,000	12,533	△ 4,467	12,500	12,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	17,000	12,533	△ 4,467				
	県支出金			0	12,500	12,500		
	その他			0				
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51342 番枝	農業総合整備事業補助金	内線	2223	予算	会計 1 一般会計 款 5 農林水産業費 項 1 農業費 目 3 農業振興費	総 計 画	政策 4 「にぎわい」のあるまちをめざして 分野 2 農業 基本施策 1 個性ある農業生産地づくりを行う 施策 1 競争力のある生産基盤の整備	根拠計画 実施計画事業 農業関連施設整備事業 H25実施計画額 60,000 千円	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。
担当課	農政部 農務課										

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者(農業者の組織する団体等)	どうしたいのか(意図)	・化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふ・クリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する ・トマト集出荷貯蔵施設の整備による大量ロット出荷等により市場での有利販売を図る	概要	事業の実手法(手段)	安全・安心・健康で競争力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山トマト選果場整備補助 吉城トマト選果場整備補助 雨よけハウス、小型予冷库、遮光施設、黄色蛍光灯等機械施設整備補助 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	飛騨高山トマト選果場利用者数	人	目標値	122	126	130	130
		実績値	114					
	成果指標	算出根拠等 トマト選果場整備 事業実施計画書		達成率(%)	93	90		
		重点品目(トマト、ホウレンソウ)の販売額	百万円	目標値	6,581	6,637	6,694	6,750
	実績値	6,894						
	成果指標	算出根拠等 高山市農山村地域活性化計画		達成率(%)	105	102		
		ぎふ・クリーン農業計画面積(トマト、ホウレンソウ)	ha	目標値	936	969	1,002	1,035
	実績値	936						
	成果指標	算出根拠等 飛騨・美濃じまん農産物育成計画		達成率(%)	100	98		
				目標値				
	実績値							
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値					
実績値								
成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
実績値								
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 県予算額、補助率低下により事業費が低下し、事業要望に応えられない状態がある。 近年の異常気象や他産地との競合等環境の変化により販売額が伸び悩んでいる。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・早期の事業実施や限られた予算の有効活用により効率的な補助金執行を行う。	
次年度の 実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・事業内容の精査と販売額の増加につながる事業の優先実施
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・成果を検証しながら、事業を継続する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	42,975	499,788	42,500	51,098
	受益者1件当たり(円) (A/B)	9,580	111,411	9,474	11,391
受益者	H22 農業センサス農家戸数 (B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・安全・安心・健康な農産物の安定供給を図るための機械・施設整備に対する助成	要求のポイント	・ぎふ・クリーン農業を基本とした機械・施設等の導入を支援することにより、安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりの推進を図る	事業実施の課題	・収益力の向上に向けた早期かつ計画的な機械・施設整備の促進
------	---------------------------------------	---------	-----------------------------------------------------------------	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		42,500	51,098	8,598	40,000	40,000	・財源確保(県行革アクションプランによる補助率縮減の見直し)が見込めないことから、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	24,000	30,049	6,049	24,000	24,000		
	その他			0				
一般財源		18,500	21,049	2,549	16,000	16,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51346	地産地消推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	地産地消推進計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・生産物の消費拡大を図るため、地産地消の拡大や直売所などの活用による販路の拡大と流通の効率化に取り組みます
番枝				款	5	農林水産業費		分野	2	農業	実施計画事業	地産地消推進事業		
担当課	農政部 農務課	内線	2225	項	1	農業費		基本施策	1	個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	3,500 千円		
				目	3	農業振興費		施策	3	販路の拡大と流通の効率化				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生産されたものが、地域で消費しやすくなる ・生産者の顔が見え、新鮮で安全・安心な農産物が供給される ・地域の農業と関連産業の活性化を図る 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校等大量調理施設において地域農産物の利用促進を行う ・地産地消取組事業者の情報発信や消費者と生産者の交流促進を通じ地産地消をPRする
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進会議を開催し、地産地消推進計画の方向性を協議 ・「飛騨高山やさいの日」月間で地産地消PR活動を展開(平成23年8月) ・学校給食地産地消推進事業補助金により、小中学校の学校給食における地元農産物、県産農産物の積極的活用を推進 ・地産地消の具体的な取組みを示す地産地消推進計画を策定(平成24年2月) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	学校給食における地元農産物利用量(県補助事業対象分)	t	目標値	150	153	156	160
				実績値	142	144		
				算出根拠等	達成率(%)	95	94	
	活動指標	地産地消推進会議開催回数	回	目標値	4	4	4	4
				実績値	4	4		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	公設卸売市場取扱量に占める飛騨産食材の比率	%	目標値		11	12	12
				実績値	10.1	10.5		
				算出根拠等	達成率(%)		95	
	成果指標	学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率	%	目標値		65	66	66
				実績値	64.3	63.2		
				算出根拠等	達成率(%)		97	
	成果指標	地産地消の取組みを発信する店舗・団体の数	件	目標値		200	300	350
				実績値	118	153		
算出根拠等				達成率(%)		77		
成果指標	主要な直販所の年間販売額(13直売所)	千円	目標値		470,000	480,000	485,000	
			実績値	467,262	474,343			
			算出根拠等	達成率(%)		101		
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・「飛騨高山やさいの日」月間など、地産地消の拡大に向け、行政と市民が一体となって取り組む仕組みができつつある ・地産地消に対する認知度が高まってきている 							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消に向けた取組みの認知度については徐々に高まりつつあるものの、一層の推進を図るうえでは、より多くの民間関係者を巻き込んだ事業主体の在り方、事業者の関心が高まる仕掛けづくり等、全市を挙げた取組みに発展させるための具体的な取組みを検討する必要がある。
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内プロジェクトチーム(5月11日)及び地産地消推進会議(5月31日)を開催し、生産者と食品関連業者等のマッチングフェアの開催、飛騨高山地産地消推進店認定制度の創設等新たな取組みを協議 	
次年度の実施方針	担当課評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度創設予定の「飛騨高山地産地消推進店認定制度」が有効に機能するよう、利用促進に向けた具体的な取組みを実施する ・地産地消が着実に推進できるよう地産地消推進計画の進捗評価を行う
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,266	1,363	3,000	3,223
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 13	15	32	35
	受益者	(B) 全市民	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進計画に基づく地元農産物の消費拡大を図るための地産地消のPR等 ・学校給食での地元農産物の利用促進 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参画による地産地消の推進のための新たな事業実施 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い関係者(生産者、事業者、消費者等)の連携による市民や観光客に魅力ある地産地消の創出
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------	---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,000	3,223	223	3,000	3,000	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	1,000	1,000	0	1,000	1,000		
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,223	223	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51358 番 枝	市民ふれあいファミリー農園運営費	内線	2225	予算	会計 1 一般会計 5 農林水産業費 1 農業費 3 農業振興費	総 計 画	政策 4 「にぎわい」のあるまちをめざして 分野 2 農業 基本施策 1 個性ある農業生産地づくりを行う 施策 3 販路の拡大と流通の効率化	根拠計画 実施計画事業 H25実施計画額	農業に親しむ機会充実事業 1,800 千円	市長公約
担当課	農政部 農務課										

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農地を持っていない市民(34,447世帯-農家4,486戸)	どうしたいのか(意図)	・生産、収穫などの農業体験を通して、家族とのふれあいや地域の農業、農産物に対する理解を深める ・生きがいを持ち、健康的でゆとりのある生活の実現を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・市民ふれあいファミリー農園を提供する(塩屋、下切) ・各農園に指導者を設置するほか、施設の維持管理を行う
	対象者数	29,961 世帯					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	塩屋農園 60区画、下切農園 40区画 利用率 100%							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	市民農園の申込み割合	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	102		
				算出根拠等	市民農園申込書	達成率(%)	100	102
	活動指標	指導者の設置	人	目標値	2	2	2	2
				実績値	2	2		
				算出根拠等	指導者数	達成率(%)	100	100
	成果指標	農園利用区画数	区画	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
				算出根拠等	塩屋農園 60区画、下切農園 40区画	達成率(%)	100	100
	成果指標			目標値				
				実績値				
算出根拠等								
成果指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等					
成果指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等					
補足	駐車場や農機具庫、休憩所、トイレ等設置し、利便を図っている。							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・利用者からは好評を得ているが、新たな利用者をどのように掘り起こすのか検討する必要がある。
-----------------	-----------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・「広報たかやま」やヒッツFM、HPなどの媒体により利用者を募集している。 ・施設の適正な維持管理を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市民が気軽に農業体験ができるように、引き続き実施する必要がある。 ・田を畑にしているため排水が悪く、農地のかさ上げや排水を整備する必要がある。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特定の利用者に限定されることから、受益者負担の見直しについて検討する必要がある。 ・毎年同じ市民が利用しつづけることのないよう利用者の掘り起こしについて工夫する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	1,592	1,701	1,690	2,402
	受益者1件当たり(円) (A/B)	54	57	56	80
	受益者 農地を持っていない世帯 (B)	29,535	29,712	29,961	29,961

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市民ふれあいファミリー農園の維持管理	要求のポイント	・施設のより一層の利用促進	事業実施の課題	・新たな利用者の掘り起こし ・排水不良部分の解消
------	---------------------	---------	---------------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,690	2,402	712	3,160	3,160	・積算内容を精査 ・排水不良の改善のほか、トイレの洋式化に要する経費を計上	・財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	611	611	0	611	611		
	一般財源	1,079	1,791	712	2,549	2,549		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51375 番枝	環境保全型農業支援事業費	内線	2224	予算	会計 1 一般会計 5 農林水産業費 1 農業費 3 農業振興費	総合計画	政策 4 「にぎわい」のあるまちをめざして 分野 2 農業 基本施策 1 個性ある農業生産地づくりを行う 施策 3 販路の拡大と流通の効率化	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。 ・農業生産額250億円を目指します。
担当課	農政部 農務課											
実施計画事業	環境保全型農業推進事業										H25実施計画額	2,600 千円

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	対象者数	4,486 戸	どうしたいのか(意図)	・廃ビニールの適正処理、農薬の安全使用の徹底など地域環境の保全を図る ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・高山市の農業と環境を守る協議会と、JA等関係団体と協調し、廃ビニールの処理にかかる費用を助成する ・国、県と協調し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う
----	--------	-----	------	---------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----	-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	関係機関と協調し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。国・県と協調し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	廃ビニールの回収作業	回	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	2		
	算出根拠等		年1回(12月頃)	達成率(%)	100	200		
	成果指標	廃ビニール用フレコンバッグの回収量	袋	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	642	590		
	算出根拠等		実績報告書	達成率(%)	64	59		
	成果指標	環境保全型農業直接支払交付金の交付対象面積	a	目標値		4,000	1,500	1,300
				実績値		432		
	算出根拠等		交付決定通知書等	達成率(%)		11		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	環境保全型農業直接支援対策については平成23年度からの新規事業である。今後は、関係機関と連携し、受益者の掘り起こしと周知を強化するとともに、情勢把握の徹底による事務効率の向上を図る必要がある。
-----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	国・県・関係機関と情報共有を行い、受益者の掘り起こしと事務の効率向上を図っている。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	国・県・関係機関と協調して行う事業であり、情勢把握の徹底に努めつつ継続する。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・成果を検証しながら、事業を継続する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 642	2,625	1,600	1,520
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 143	585	357	339
受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・廃ビニールの適正処理、農薬の安全使用の徹底など、地域環境の保全を図るための活動の支援 ・有機農業など地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動の支援	要求のポイント	・団体、農業者の取組み支援により、環境保全型の営農活動の促進を図る	事業実施の課題	・本市の農業や地勢に合った環境保全に効果が高い取組みの検討
------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------	-----------------------------------	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,600	1,520	△ 80	1,500	1,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	300	260	△ 40	250	250		
	その他			0				
一般財源		1,300	1,260	△ 40	1,250	1,250		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51390 番枝	中山間地域等直接支払事業費	予算	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・次代につながる農業を実現します
				款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	中山間地域等直接支払事業	
担当課		農政部 農務課	内線	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	177,500 千円	
			2230	目	3 農業振興費	施策	1 競争力のある生産基盤の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者等(協定集落)	どうしたいのか(意図)	耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する	概要	事業の実施手法(手段)	中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して交付金を交付する
	対象者数	2,581 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	協定を締結している集落に対し交付金を交付							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	協定締結集落数	集落	目標値	94	95	95	96
				実績値	94	95		
	成果指標	事業参加面積	ha	目標値	1,288	1,294	1,313	1,325
				実績値	1,288	1,294		
	算出根拠等			達成率(%)	109	110		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	当該事業の採択条件に「5年以上農業を続けること」という条件があるため、農業の継続を検討している農業者が参加しない場合がある
-----------------	---------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	事業内容について対象者に説明し、より多くの農用地を事業対象農用地とする。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	新規要望集落及び現行の対象農用地周辺の耕作放棄地等について、積極的に当該事業の対象農用地とし、耕作放棄地の抑制、改善を図る。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	176,068	178,528	180,900	183,351	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	68,992	69,574	70,499	71,039	
	受益者	協定締結農家数	(B)	2,552	2,566	2,566	2,581

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・急傾斜地、緩傾斜地、高標高地、高齢化・耕作放棄率が高いなど農業生産条件が不利な中山間地域等において、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対する支援	要求のポイント	・取組み面積の拡大により、条件不利地での営農活動の維持、農地の多面的機能の確保を図る	事業実施の課題	・協定参加者の高齢化等による対象農用地の耕作維持及び事業への取り組み意欲の低下
------	----------------------------------------------------------------------------------	---------	--------------------------------------------	---------	-----------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		180,900	183,351	2,451	183,300	183,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	135,248	137,047	1,799	137,050	137,050		
	その他			0				
一般財源		45,652	46,304	652	46,250	46,250		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51391 番枝	棚田再生保存推進事業費	内線	2222	会計	1 一般会計	政策	2 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
					款	5 農林水産業費	分野	2 景観	実施計画事業	棚田再生保存推進事業	
担当課		農政部 農務課			項	1 農業費	基本施策	1 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	H25実施計画額	400 千円	
					目	3 農業振興費	施策	1 個性ある景観の保全			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	棚田保全団体	どうしたいのか(意図)	・耕作放棄地の解消 ・農村景観の保全	概要	事業の実施手法(手段)	・棚田保全団体の活動支援
	対象者数	1 団体					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・イベントの実施(凧揚げ、芋掘り等)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	行事、イベント、棚田保全の取り組み	回	目標値	11	11	10	10
				実績値	11	2		
				算出根拠等	達成率(%)	100	18	
	成果指標	棚田保全面積	ha	目標値	5	5	5	5
				実績値	5	5		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
実績値								
算出根拠等				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	組織の在り方や今後の方針を検討する必要がある。
-----------------	-------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	地域内で、将来的に誰が景観を守っていくのかなど、地域における組織の在り方を検討する。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	事業継続の検討、組織の見直し
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・市内の1地区のみに対する助成であり、中山間地域等直接支払事業費(国の補助事業)にて対応できないか検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	351	300	350	395
	受益者1件当たり(円) (A/B)	351,000	300,000	350,000	395,000
受益者	滝町棚田保存会 (B)	1	1	1	1

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・棚田を利用した都市住民との交流イベント等の活動に対する助成	要求のポイント	・団体への活動支援等により、農村景観の保全が図られる	事業実施の課題	・保存会組織の後継者育成及び再構築
------	--------------------------------	---------	----------------------------	---------	-------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		350	395	45	350	350	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		350	395	45	350	350		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	51392	耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します。 ・認定農業者を5%増やし、耕作放棄地ゼロを目指します。
番付				款	5 農林水産業費		分野	2 農業	実施計画事業	耕作放棄地対策事業		
担当課	農政部 農務課	内線	2227	項	1 農業費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	10,000 千円			
		目	3 農業振興費	施策	1 競争力のある生産基盤の整備							

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	解消に取り組む地縁団体、改良組合、企業等	どうしたいのか(意図)	・耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地が洪水防止などの多面的機能を発揮し、住環境や自然環境を維持する。また、地域の団体や企業などが耕作放棄地の解消に取り組むことで、地域振興の契機とする。 ・耕作放棄地を解消する。160ha(H22末) ⇒ ゼロ ha	概要	事業の実施手法(手段)	・耕作放棄地を解消しようとする団体、企業等が地域の耕作放棄地マップを作成。その耕作放棄地マップにより解消しようとする農地を明確にするとともに、耕作放棄地再生計画を作成し、その計画に基づいて事業を実施する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・平成23年度は、上宝・清見地域等で5団体 1.9haについて再生事業を実施し、水稲・そばなどを作付した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	遊休地、耕作放棄地所有者に指導通知	回	目標値		1	1	1
				実績値		1		
				算出根拠等		達成率(%)	100	
	活動指標	耕作放棄地調査	回	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	1		
				算出根拠等		達成率(%)	100	100
	成果指標	耕作放棄地解消面積【再生利用事業を活用】	ha	目標値	6	6	6	6
				実績値	3	2		
				算出根拠等		達成率(%)	50	32
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等				
				目標値				
				実績値				
			算出根拠等					
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等					
補足	・平成22・23年度において、農地相談員が耕作放棄地所有者に対し意向確認を行い、新規就農者に提供するなどソフト面でも解消につなげた。(2.4ha)							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・事業費ベースで、平成21・22年度は96%・97%の執行率であったが平成23年度は63%と下がった。事業推進のためのPRが必要である。 ・農業委員会と連携しパトロールなどを実施するなど耕作放棄地発生防止及び、農地所有者への指導などを行う必要がある。 ・耕作放棄地全体調査結果 H20:174ha、H21:166ha、H22:160ha、H23:155haとなっている。H23で形式的には前年比△5haであるが、解消は16haであり新規の発生面積は11haである。
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・支援制度が市民に浸透している状況がうかがえない為、ホームページ等で公表するようにする。 ・8月～11月の農地パトロールを踏まえ、耕作放棄地所有者に意向調査を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・耕作放棄地は農業従事者の主力を担ってきた世代が高齢化し、規模縮小や離農が進み、農地を受ける担い手がいない状況下で、土地条件が悪い農地を中心に、耕作放棄地が増大していると推測される。 そのため、農業委員会による農地パトロールはもとより、「人・農地プラン」策定に当たり地域農業者との座談会などを通じて、耕作放棄地を地域の担い手への位置づけ、当該支援制度を有効利用して解消を図る。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・事業実施の成果について検証し、耕作放棄地をゼロにしていくための有効な方策について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 9,722	6,345	10,000	10,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 104	68	108	108
	受益者	(B) 全市民	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・耕作放棄地及び放棄の恐れのある農地の再生に対する助成	要求のポイント	・耕作放棄地及び遊休地等を再生・営農開始する団体や企業等の支援により耕作放棄地解消の推進を図る	事業実施の課題	・高齢化や担い手不足による条件の悪い山すそ等の耕作放棄地の増加 ・相続による農地の分散化や遊休化
------	-----------------------------	---------	-------------------------------------------------	---------	-----------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	10,000	0	10,000	10,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,000	10,000	0	10,000	10,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54100	農業土木施設維持管理費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 農業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 次代につながる農業を実現します
	番枝			款	5 農林水産業費		分野	2 農業	実施計画事業	農業生産施設維持修繕・改修事業		
担当課	農政部 農務課			項	4 農業土木費		基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	10,000 千円		
	内線			目	1 農業土木総務費		施策	6 農業関連施設の整備				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか (意図)	排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良(地元分担金が不要なもの)	概要	事業の実施 手法(手段)	排水路等の農業用施設の修繕・改修整備
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	町内要望、情報連絡箇所を中心に、修繕工事を行った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	水路等の修繕、原材料支給件数	件	目標値	150	150	150	150
				実績値	109	141		
				算出根拠等	達成率(%)	73	94	
	成果指標	排水路等の修繕の要望件数に対する実施箇所	箇所	目標値	96	120	120	120
				実績値	33	93		
				算出根拠等	達成率(%)	34	78	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で 明らかになった課題	市内の排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、修繕等にかかるニーズが高いが、その全てには対応できていない。
---------------------	--------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対する H24対応状況	町内会、農地・水環境保全対策活動組織、土地改良区との調整により事業実施						
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 </td> <td>施設の維持、延命化を図るため、町内会、農地・水環境保全対策活動組織、土地改良区などとの更なる調整、事業費の拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 </td> <td>・農地・水保全管理事業にて実施できないか検討する必要がある。</td> </tr> </table>	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	施設の維持、延命化を図るため、町内会、農地・水環境保全対策活動組織、土地改良区などとの更なる調整、事業費の拡大が必要である。	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・農地・水保全管理事業にて実施できないか検討する必要がある。
	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	施設の維持、延命化を図るため、町内会、農地・水環境保全対策活動組織、土地改良区などとの更なる調整、事業費の拡大が必要である。				
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・農地・水保全管理事業にて実施できないか検討する必要がある。					

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 28,059	49,192	58,200	79,651
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 6,255	10,966	12,974	17,755
	受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・農業用排水路、農道等の維持管理	要求の ポイント	・農地・水保全管理事業では実施しきれない箇所の改修等により、施設の機能保全や長寿命化を図る	事業 実施 の 課題	・整備箇所の優先性について検討し、計画的な整備を行う必要がある ・市内の排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、その機能保全及び長寿命化が課題となっている。
------	------------------	-------------	-----------------------------------------------	---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		28,200	79,651	51,451	28,000	28,000	・実施計画どおり	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	334	288	△46	287	287		
	一般財源	27,866	79,363	51,497	27,713	27,713		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54105 番枝	防災ダム維持管理事業費	内線	2230	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります ・土石流等の自然災害に備える防災施設の施工を進め実践的な防災訓練を実施します
					款	5 農林水産業費	分野	8 防災	実施計画事業	防災ダム管理事業		
担当課		農政部 農務課			項	4 農業土木費	基本施策	1 災害に強いまちをつくる	H25実施計画額	1,000 千円		
					目	1 農業土木総務費	施策	3 豪雨災害の防止				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	ダム下流域の市民	どうしたいのか(意図)	・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する	概要	事業の実手法(手段)	・施設の保守点検を実施し、常に良好な状態を保全する ・異状時における不具合がおきないよう、施設の修繕を実施する ・通信回線を利用し、必要なデータを迅速に入手できるようにする ・施設までの送電に支障がおきないように、送電線周辺の管理を行う
	対象者数	78,661 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設点検(冬期間を除き毎月1回+降雨時の点検) 移設維持管理(スクリーンの清掃、支障木伐採、ヒューズ交換等) 豪雨時のモニターによる貯水量等の確認 沈砂池の土砂撤去(工事請負) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	点検回数	回	目標値	20	20	20	20
		実績値	27	27				
	算出根拠等	実施回数/目標回数	達成率(%)	135	135			
	活動指標	施設管理等処理数	回	目標値	10	10	10	10
		実績値	12	13				
	算出根拠等	処理件数/目標件数	達成率(%)	120	130			
	算出根拠等	目標値						
		実績値						
	算出根拠等	達成率(%)						
	算出根拠等	目標値						
		実績値						
算出根拠等	達成率(%)							
算出根拠等	目標値							
	実績値							
算出根拠等	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民生活の安全を確保する上で重要な施設であり、施設を適正な状態に保つためにも、その施設の維持管理は不可欠であることから、電気設備等の定期点検や耐用年数に応じた施設や機器の更新を実施する必要がある ・大地震時(震度5強)における施設の安全性について、県と調整を図りながら検討を進める必要がある
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・通常時の河川流量を確保するため、沈砂池の土砂撤去を実施する ・データ管理等に必要な設備の更新を行う ・地震時の施設の安全性について県と調整を行う	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・これまでどおり施設の点検維持を進める
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,709	873	1,351	2,156
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 34	11	17	27
受益者	ダム下流域の市民	(B) 79,318	78,957	78,661	78,661

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・宮川防災ダム及び久々野防災ダム施設の維持管理	要求のポイント	・施設の適正な維持管理による豪雨災害の防止等を図る	事業実施の課題	・経年による管理システム等の点検業務が必要となっている ・大地震時(震度5強)における施設の安全性について、県と調整を図りながら検討を進める必要がある
------	-------------------------	---------	---------------------------	---------	--------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,351	2,156	805	998	998	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	400		△ 400				
一般財源	951	2,156	1,205	998	998			

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54110	農業土木関係事務費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・次代につながる農業を実現します
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業		
担当課		農政部 農務課	項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	千円	
		内線 2230	目	1 農業土木総務費	施策	6 農業関連施設の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	農道、水路等の農業用施設の適正な維持管理	概要	事業の実手法(手段)	・農業用施設の維持管理事務 報償金(水門等管理、花壇手入れ)、旅費、需用費(消耗品、自動車燃料費) 自動車リース料、保険料(賠償責任保険)、県土地改良事業団体連合会負担金
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水門等管理及び花壇手入れに対する謝金の支払い 維持管理事務実施における諸費用の支払い 農業用施設管理における賠償責任保険の支払い 岐阜県土地改良事業団体連合会の負担金(賦課金)の支払い 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	かんがい施設管理者、道路賠償責任保険の加入	千円	目標値	44	48	48	40
				実績値	44	44		
				算出根拠等	決算/予算	達成率(%)	100	92
	活動指標	水門管理、花壇手入れの謝礼	千円	目標値	420	420	420	410
				実績値	405	405		
				算出根拠等	決算/予算	達成率(%)	96	96
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
達成率(%)								
成果面	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
補足	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・農業用施設における維持管理(草刈、土砂上げ等)については、地域住民等が協力しあい実施しているが、維持管理を行う上で地域において補えない部分について市が対応している
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・農業用施設の維持管理において必要な事業であるため、次年度も引き続き事業を継続する						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>・農業用施設の維持管理において必要な事業であるため、次年度も引き続き事業を継続する</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・農業用施設の維持管理において必要な事業であるため、次年度も引き続き事業を継続する	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)
	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・農業用施設の維持管理において必要な事業であるため、次年度も引き続き事業を継続する				
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)					

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,170	1,424	1,264	1,647
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 484	317	282	367
受益者	H22 農業センサス農家戸数	(B) 4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・農道、水路等の農業用施設の維持管理	要求のポイント	・農業用施設の適切な維持管理の推進	事業実施の課題
------	--------------------	---------	-------------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,264	1,647	383	1,807	1,807	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	30	30	0	44	44		
	その他	496	580	84	580	580		
	一般財源	738	1,037	299	1,183	1,183		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54115 番 枝	農業土木施設整備事業費	予算	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 次代につながる農業を実現します
				款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	農業生産施設維持修繕・改修事業	
担当課		農政部 農務課	内線	項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	10,000 千円	
			2230	目	1 農業土木総務費	施策	6 農業関連施設の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	農業者	どうしたいのか(意図)	用水路等の農業用施設の機能回復または機能改良(地元分担金が必要なもの)	概要	事業の実施手法(手段)	用水路等の農業用施設の修繕・改修整備
	対象者数	4,486 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	町内要望、情報連絡箇所を中心に、修繕工事を行った。また、豪雨災害による市単事業農地災害復旧工事を行った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	用水路等の修繕件数	件	目標値	20	54	20	20
				実績値	13	34		
				算出根拠等	達成率(%)	65	63	
	成果指標	用水路等の修繕の要望件数に対する実施箇所	箇所	目標値	104	54	120	
				実績値	9	34		
				算出根拠等	達成率(%)	9	63	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市内の用水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、修繕等にかかるニーズが高いが、その全てには対応できていない。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	町内会、農地・水環境保全対策活動組織、土地改良区との調整により事業実施	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	施設の維持、延命化を図るため、町内会、農地・水環境保全対策活動組織、土地改良区などとの更なる調整、事業費の拡大、地元分担金の低減が必要である
	○ 維持・改善	・農地・水保全管理事業にて実施できないか検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	9,760	38,973	50,000	59,701
	受益者1件当たり(円) (A/B)	2,176	8,688	11,146	13,308
受益者	H22 農業センサス農家戸数 (B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・農業用用水路、農道等の維持管理	要求のポイント	・農地・水保全管理事業では実施しきれない箇所の改修等により、施設の機能保全や長寿命化を図る	事業実施の課題	・整備箇所の優先性について検討し、計画的な整備を行う必要がある ・市内の用水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、その機能保全及び長寿命化が課題となっている。
------	------------------	---------	-----------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	59,701	49,701	10,000	10,000	・実施計画どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,775	11,256	9,481	1,775	1,775		
	一般財源	8,225	48,445	40,220	8,225	8,225		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54150	農地・水保全管理事業費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくれます。
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	農地・水保全管理事業(H22まで 農地・水・環境保全向上対策事業)	
担当課		農政部 農務課	項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	51,500 千円	
	内線 2230		目	1 農業土木総務費	施策	1 生産体制の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	活動組織(農業者、地域住民、自治会、子供会等)	どうしたいのか(意図)	脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設を保全(長寿命化)するとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各地域の活動組織と市が農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定を締結した上で、平成24～28年度まで、地域協議会から支援交付金(国2/4、県1/4、市1/4)にて、地域共同活動を支援する。
	対象者数	68 組織					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	地域の共同活動組織への交付金として、地域協議会へ市の負担分(交付金の1/4)を支出							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	参加面積割合	ha	目標値	5,455	5,444	5,444	5,444
				実績値	3,040	3,040		
	算出根拠等	農振農用地面積/参加面積		達成率(%)	56	56		
	成果指標	インフラ整備充当率	%	目標値	40	40	40	40
				実績値	37	44		
	算出根拠等	事業費/インフラ整備		達成率(%)	93	110		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
実績値								
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	実績報告等の提出書類の事務が複雑で、事務の簡素化を求める組織が多くある。
-----------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	組織のサポートや事務委託をしている岐阜県土連飛騨事務所と連携しながら、組織への情報の提供や指導を実施	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るためには必要な事業であり、次年度も引き続き事業を継続
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 32,662	49,783	51,620	49,732
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 502,492	478,683	397,077	394,698
受益者	活動組織数	(B) 65	104	130	126

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域による農業生産基盤及び環境保全向上活動に対する助成	要求のポイント	・活動組織に対する支援により、地域ぐるみで取り組む農業用施設の保全や農村環境の保全を図る	事業実施の課題	・組織数(実施地域)の拡大
------	------------------------------	---------	----------------------------------------------	---------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		51,620	49,732	△ 1,888	49,620	49,620	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	120	144	24	120	120		
	その他			0				
一般財源		51,500	49,588	△ 1,912	49,500	49,500		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54200	県営土地改良事業負担金 (広域農道整備事業)	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・次代につながる農業を実現します
番枝	1			款	5 農林水産業費		分野	2 農業	実施計画事業	広域営農団地農道整備事業		
担当課	農政部 農務課		内線	2230	項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	0 千円		
					目	2 土地改良費	施策	6 農業関連施設の整備				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	事業対象地区受益者	どうしたいのか(意図)	・農地集約等による農業経営の合理化と、大型機械等の導入による近代化により農業振興を図る ・農業生産基盤である農地と野菜集出荷施設、カントリーエレベーター等の近代化施設とを結び移動時間の短縮を図る ・地域における生活用道路として環境の改善を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・国の補助を受け、県が事業主体となって広域農道(岩井町から久々野町長淀まで)を新設する ・市は整備にかかる事業費の一部を負担する ・L=22,211m W=7.0m
	対象者数	2,742 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・事業実施に対する負担金の支払い							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	道路整備延長(換算延長)	m	目標値	208	252	304	320
		実績値		185	49			
	成果指標	道路整備率	%	目標値	2	2	2	2
		実績値		1	0			
	算出根拠等	整備実施延長/整備予定延長		達成率(%)	89	19		
		事業費/計画額		達成率(%)	93	21		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・国、県の財政事情や予算配分に大きく左右され事業期間が延伸しており、事業効果が上がっていない。
-----------------	-------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・事業主体である県と、事業費の確保と補正等による事業費増額の見込みについて調整を行い事業推進を図る						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>・国、県の財政事情を考慮しながら、総事業費の維持を基本として県と事業費の調整を図る</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討</td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・国、県の財政事情を考慮しながら、総事業費の維持を基本として県と事業費の調整を図る	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)
担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・国、県の財政事情を考慮しながら、総事業費の維持を基本として県と事業費の調整を図る					
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)					

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 10,500	2,762	17,250	18,225
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,829	1,007	6,291	6,647
受益者	事業対象地区受益戸数	(B) 2,742	2,742	2,742	2,742

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・県が行う朝日町万石から久々野町長淀間の広域農道の整備にかかる負担金	要求のポイント	・県事業計画に基づく事業費負担	事業実施の課題	・国や県の財政事情により実施が遅延している
------	------------------------------------	---------	-----------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17,250	18,225	975	18,225	18,225	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	17,250	18,225	975	18,225	18,225		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54200 番 2	県営土地改良事業負担金 (県営中山間地域農村活性化総合整備事業)	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・次代につながる農業を実現します
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	中山間地域農村活性化総合整備事業	
担当課		農政部 農務課	項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	16,000 千円	
		内線 2230	目	2 土地改良費	施策	6 農業関連施設の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	事業対象地区受益者	どうしたいのか(意図)	・中山間地域は農業生産条件の不利益性から、農林地の整備の遅れと相まって、高齢化、過疎化という問題を抱えている。そういった問題は、荒廃農地を生み、食糧自給率の低下、洪水被害の増加等の新たな問題を生むこととなるため、農業生産基盤の整備と農村生活基盤の整備をおこなうことにより、農業の持続的生産活動の促進を図り、中山間地域が抱える諸問題の解決を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・国の補助を受け、県が事業主体となって用水路等の整備を行う ・市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する
	対象者数	444 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する負担金の支払い 事業実施に対する地元分担金の徴収 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	整備延長	m	目標値	375	1,630	935	3,292
		実績値		505	200			
	算出根拠等		整備実施延長/整備予定延長	達成率(%)	135	12		
	成果指標	整備率	%	目標値	12	18	17	32
		実績値		16	9			
	算出根拠等		事業額/計画額	達成率(%)	137	51		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> この事業は、中産間地域における農業用施設等の総合的な整備を行う事業であり、旧高山地域においては事業対象とならない地域がある。また、事業費の関係から市内全域に亘って事業を実施することは困難となることから、整備箇所の調査選定等計画的に事業実施を検討する必要がある 県が事業実施主体であり、市や地元の負担軽減が図られ有効な事業であるが、県の予算配分により事業費が増減するため、県との調整を十分に行う必要がある
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 次期総合計画を視野に、計画的な事業実施に向けて整備の必要な箇所の把握に努める 県との調整を密接に行い、事業費の把握に努めると共に市と地元負担額の確保を図る 						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 </td> <td rowspan="2"> ・国、県の財政事情により当地区における予算確保が厳しい現状であるが、事業推進に向けて県と調整を図る </td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 </td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> </table>	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・国、県の財政事情により当地区における予算確保が厳しい現状であるが、事業推進に向けて県と調整を図る	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)
担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・国、県の財政事情により当地区における予算確保が厳しい現状であるが、事業推進に向けて県と調整を図る					
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討		(担当課評価に同じ)				

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 11,182	6,600	12,000	22,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 25,185	14,865	27,027	50,676
受益者	事業対象地区受益戸数	(B) 444	444	444	444

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・県が行う南高山地区の農業用水路、農道、集落道の整備にかかる負担金	要求のポイント	・県事業計画に基づく事業費負担	事業実施の課題	・予定どおり事業が進捗していない
------	-----------------------------------	---------	-----------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		12,000	22,500	10,500	12,900	12,900	・国補正予算による平成24年度への事業前倒しに伴い、事業内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	8,378	4,421	△ 3,957	4,000	4,000		
	一般財源	3,622	18,079	14,457	8,900	8,900		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54205 番枝	農業用施設整備事業補助金	内線	2230	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・次代につながる農業を実現します
					款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	土地改良事業	
担当課		農政部 農務課			項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	5,300 千円	
					目	2 土地改良費	施策	6 農業関連施設の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	高根地区の土地利用管理組合	どうしたいのか(意図)	小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を補助することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	旧高根村において実施された土地改良事業に係る負担金の補助
	対象者数	101 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	土地改良事業に係る負担金を補助							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	土地改良事業に伴う負担金の補助	千円	目標値	6,267	6,134	5,997	5,298
				実績値	6,267	6,134		
	成果指標	算出根拠等 償還金額明細書	千円	達成率(%)	100	100		
				目標値	6,267	6,134	5,997	5,298
		算出根拠等 償還金額明細書		実績値	6,267	6,134		
				達成率(%)	100	100		
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
実績値								
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・農業経営の安定化を図るためには必要な事業であるため、事業を継続して実施する
-----------------	----------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・引き続き事業を継続する										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・引き続き事業を継続する</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	・引き続き事業を継続する	拡大	縮小	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大	縮小	廃止検討	
○ 維持・改善	・引き続き事業を継続する										
拡大											
縮小											
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出 (千円) (A)	6,267	6,134	5,997	5,298
	受益者1件当たり(円) (A/B)	62,050	60,733	59,376	52,455
受益者	土地改良事業実施地区戸数 (B)	101	101	101	101

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・旧高根村において実施された土地改良事業の地元負担金に対する助成(債務負担)	要求のポイント	事業実施の課題
------	----------------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,997	5,298	△ 699	5,298	5,298	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,997	5,298	△ 699	5,298	5,298		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54230 番 枝	土地改良施設維持管理適正化事業費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 3 農業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 次代につながる農業を実現します
			款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	農業生産施設維持修繕・改修事業、土地改良事業	
担当課		農政部 農務課	項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	10,300 千円	
	内線	2230	目	2 土地改良費	施策	6 農業関連施設の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	土地改良組合、土地改良区	どうしたいのか(意図)	土地改良施設の機能保持と長寿命化を図るため	概要	事業の実施手法(手段)	土地改良施設の修繕・改修整備 整備費用の5年分割による償還払い
	対象者数	45 組合					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	過年実施工事の4組織の償還払いを行った							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	償還払いに対する分担金	千円	目標値	1,540	1,050	1,546	1,275
				実績値	1,540	1,050		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	償還払いによる受益者負担額の軽減	千円	目標値	440	300	240	120
				実績値	440	300		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	土地改良施設の整備補修件数	件	目標値	0	0	2	1
				実績値	0	0		
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果指標	土地改良施設の整備要望数	件	目標値	0	0	2	1
				実績値	0	0		
				算出根拠等	達成率(%)			
	補足			目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	土地改良施設維持管理適正化事業採択枠拡大のため、県費の拡充の働きかけを行うことが必要である
-----------------	-----------------------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	県および土地改良事業団体連合会への働きかけを行う										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="4">受益者の負担軽減を図るためには必要な事業である</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="4">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	○ 維持・改善	受益者の負担軽減を図るためには必要な事業である	拡大	縮小	廃止検討	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大	縮小	廃止検討
	○ 維持・改善	受益者の負担軽減を図るためには必要な事業である									
拡大											
縮小											
廃止検討											
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	1,980	1,350	11,786	14,749
	受益者1件当たり(円) (A/B)	441	301	2,627	3,288
	受益者 H22 農業センサス農家戸数 (B)	4,486	4,486	4,486	4,486

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設の修繕・改修整備 整備費用の5年分割による償還払い 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設の機能保持と長寿命化、老朽化施設の更新により、農業用水の安定確保・生産性向上を図る 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所の優先性について検討し、計画的な整備を行う必要がある 市内の用水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数である40年以上を経過する施設が多く、その機能保全及び長寿命化が課題となっている。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		11,786	14,749	2,963	9,952	9,952	・債務負担行為は計画どおり ・新規地区1カ所の経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	9,183	11,795	2,612	7,708	7,708		
	一般財源	2,603	2,954	351	2,244	2,244		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	54240 番枝	飛騨東部土地改良事業費	内線	2230	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
					款	5 農林水産業費	分野	2 農業	実施計画事業	土地改良事業	
担当課		農政部 農務課			項	4 農業土木費	基本施策	1 個性ある農業生産地づくりを行う	H25実施計画額	108,000 千円	
					目	2 土地改良費	施策	6 農業関連施設の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	飛騨東部土地改良区	どうしたいのか(意図)	国営飛騨東部第一土地改良事業負担金のうち、道路等に係る負担金を補助することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する	概要	事業の実施手法(手段)	国営飛騨東部第一土地改良事業に係る負担金の補助
	対象者数	301 戸					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	国営飛騨東部第一土地改良事業負担金のうち、道路等に係る負担金を飛騨東部土地改良区へ補助							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	土地改良事業に伴う負担金の補助	千円	目標値	107,941	107,941	107,941	107,941
				実績値	107,941	107,941		
	算出根拠等	補助金交付明細書		達成率(%)	100	100		
				目標値	107,941	107,941	107,941	107,941
	成果指標	地元負担金の助成による農家の経費軽減	千円	実績値	107,941	107,941		
				達成率(%)	100	100		
	算出根拠等	補助金交付明細書		目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
実績値								
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	農業経営の安定化を図るためには必要な事業であるため、事業を継続する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	農業経営の安定化を図るためには必要な事業であるため、次年度も引き続き事業継続を実施していく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	107,941	107,941	107,941	107,941
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	358,608	358,608	358,608	358,608
受益者	組合員数	(B)	301	301	301	301

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・国営事業(昭和63年から平成13年)の地元負担金に対する助成(平成25年度までの債務負担)	要求のポイント	・国営飛騨東部第一土地改良事業において、公共性の高い道路、水路等の整備にかかる地元負担に対し助成することにより、農家の経費軽減、農業経営の安定化を図る	事業実施の課題
------	------------------------------------------------	---------	-----------------------------------------------------------------------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		107,941	107,941	0	107,941	107,941	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	107,941	107,941	0	107,941	107,941		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	96110 過年農業施設補助災害復旧事業費	会計	1 一般会計	政策		根拠計画		市長公約
担当課	農政部 農務課	款	10 災害復旧費	分野		実施計画事業		
	内線 2229	項	2 農林水産業施設災害復旧費	基本施策		H25実施計画額	千円	
		目	3 過年農業施設災害復旧費	施策				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 農業者 対象者数 27 戸	どうしたいのか(意図)	平成23年5月の台風2号により被災した丹生川町日面地内の農業用施設の原形復旧を行う	概要	事業の実施手法(手段)	山腹の崩落により埋没した河川堤外水路を復旧する(現場打水路復旧 L=15m)
----	-------------------------	-------------	-------------------------------------------	----	-------------	----------------------------------------

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
成果面	活動指標	災害復旧延長	m	目標値				15
				実績値				
	算出根拠等	災害査定による		達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	6,000
受益者1件当たり(円)	(A/B)				222,222
受益者	事業対象地区受益戸数 (B)	0	0	0	27

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・丹生川町日面地内における農業用施設の過年災害復旧	要求のポイント		事業実施の課題	・市道災害復旧事業の進捗状況との調整が必要
------	---------------------------	---------	--	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,000	6,000	0	0	・災害箇所の状況により、補正予算での対応を検討する	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金		5,790	5,790	0	0		
その他		60	60	0	0		
一般財源		150	150	0	0		